

平成30年度第九中学校開かれた学校づくり協議会について(概要)

平成30年6月13日

足立区立第九中学校長
長塚琢磨

本校における方向性

- 【目的】 生徒の「たくましく生き抜く力」を育成するため、学校・家庭・地域が一体となり、それぞれの責任と役割を果たせるよう、学校を支援する。
- 【組織】 会長、副会長、委員で構成し、学校からは校長と副校長が委員として出席する。
- 【内容】 校長の経営計画に基く教育活動の充実を図るために、学校・家庭・地域の連携を強化する。
また、学校運営に関する意見や助言等、生徒の自己評価等を踏まえた改善や工夫等のアイデアを御提供いただく。
さらに、その他の必要な活動を推進する。

足立区等の考え方

- 【開かれた学校づくり協議会】
学校と地域及び家庭をつなぎ、「学校における特色ある教育活動の充実」「学校支援活動の充実」「家庭の教育力と地域の教育力の充実」をとおして、「たくましく生き抜く力」を育成することを目的とする。
協議：学校の現状や課題を学校・家庭・地域で協議する。
評価：学校の取組等について関係者評価を行う。
支援：学校運営に参画し、地域人材等を活用する。
調整：学校・家庭・地域の役割を分担し、調整する。
実施：地域資源を活用した土曜事業や家庭教育部会等の事業を実施する。

【教育基本法 第13条】

学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

【参考：第6条の2（学校教育）】

教育の目標を達成されるよう、学校においては、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行わなければならない

具体的な取組等

協議会の組織及び運営について

【組織】

- 相談役 加藤喜一郎（梅田神明町自治会顧問）
- 会長 池田 博已（21代PTA会長）
- 副会長 太齋 利幸（24代27代PTA会長）
- 副会長 鳥之海貴芳（28代PTA会長）
- 副会長 遊馬 正子（青少年委員）
- 副会長 渡部 恭一（29代PTA会長）

【留意事項】

本校の校訓である「磨く」「挑む」「思いやる」生徒の育成を目指した教育活動に御理解と御協力をいただきたい。
「足立区教育大綱」を踏まえ、「誰もが子どもを支える主役」「貧困の連鎖を断ち切る教育」の具現化を図るとともに、生徒が「ともに歩み、磨きあいながら、自身の道を切り拓く力を培う」教育を充実するために様々な立場からの建設的な意見をいただきたい。

開かれた学校づくり協議会の予定

第1回（6月13日）

平成29年度の組織や内容等について確認し、効果的な取組を検討する。

- 協議会について
- 組織の決定
- 学校経営計画等
- 事業計画について
- 予算について
- 情報交換、意見交換
- その他

第2回（9月18日）

教職員からの活動報告を受け、さらなる充実に向けて協議する。

- 学校状況報告（全体）
- 各学年からの活動報告
- 部活動報告
- 九中に期待すること
- 教育懇談
- 情報交換、意見交換
- その他

第3回（11月10日）

道徳授業地区公開講座に参加いただき、授業や生徒の様子を参観し協議する。

- 学校状況報告（全体）
- 道徳授業地区公開講座
- 土曜事業部会
- 家庭教育部会
- 評価部会
- 情報交換、意見交換
- その他

第4回（2月検討）

生徒の自己評価や教職員の学校評価を踏まえ、よりよい学校にするための検討を行う。

- 学校状況報告（全体）
- 学校評価について
- 評価部会
- 家庭教育部会
- 情報交換、意見交換
- その他

第九中学校の
教育活動の充実

学校評価の充実
連携協力の強化

平成31年度
教育計画の策定